

雑誌『がん看護』第28巻2号(2023年1-2月増刊号) サポート情報

131~136頁

第Ⅱ章 ACPを組織(地域)で推進する

◆ACP支援を必要とする患者のスクリーニングとACPを促進するコミュニケーションツールの活用
(著:大谷弘行)

上記の項目において、理解をより深めるための資料4点を公開いたします。

資料① 「あなたの気持ちの確認用紙」コミュニケーションマニュアル

資料② 「あなたの気持ちの確認用紙」会話ポイント

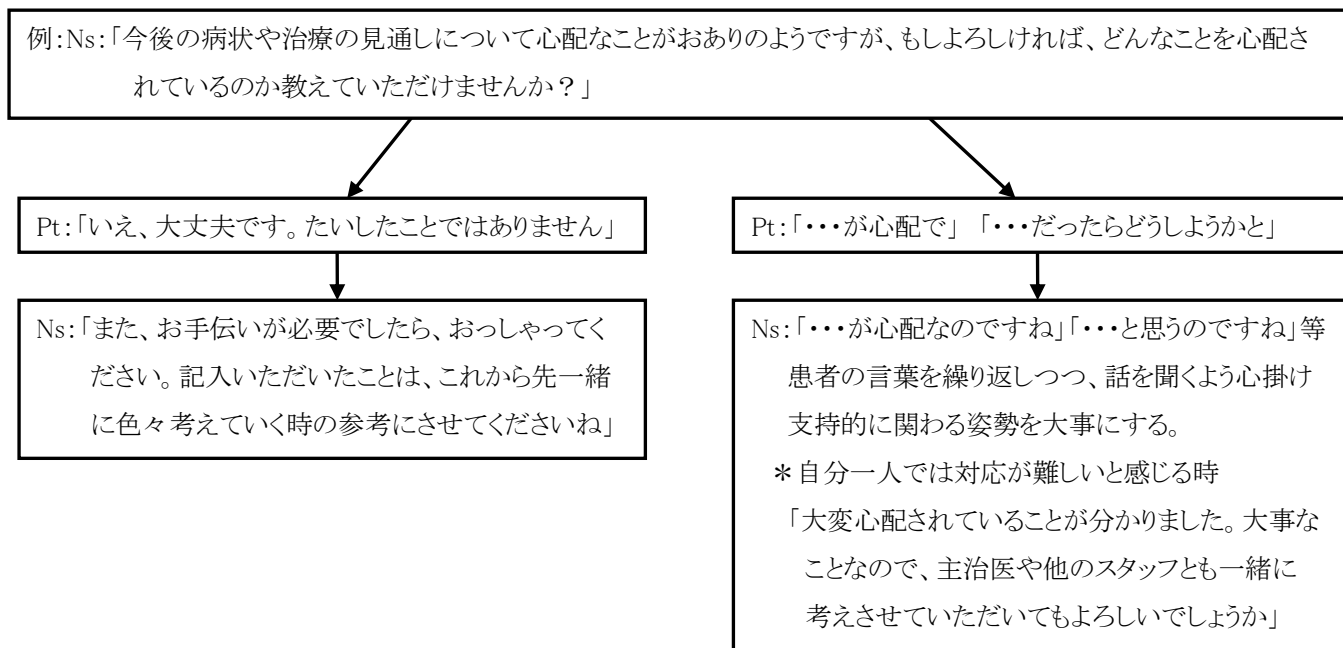
資料③ 2013年作成 九州がんセンター ACPポスター

資料④ 2013年作成 九州がんセンター ACPリーフレット

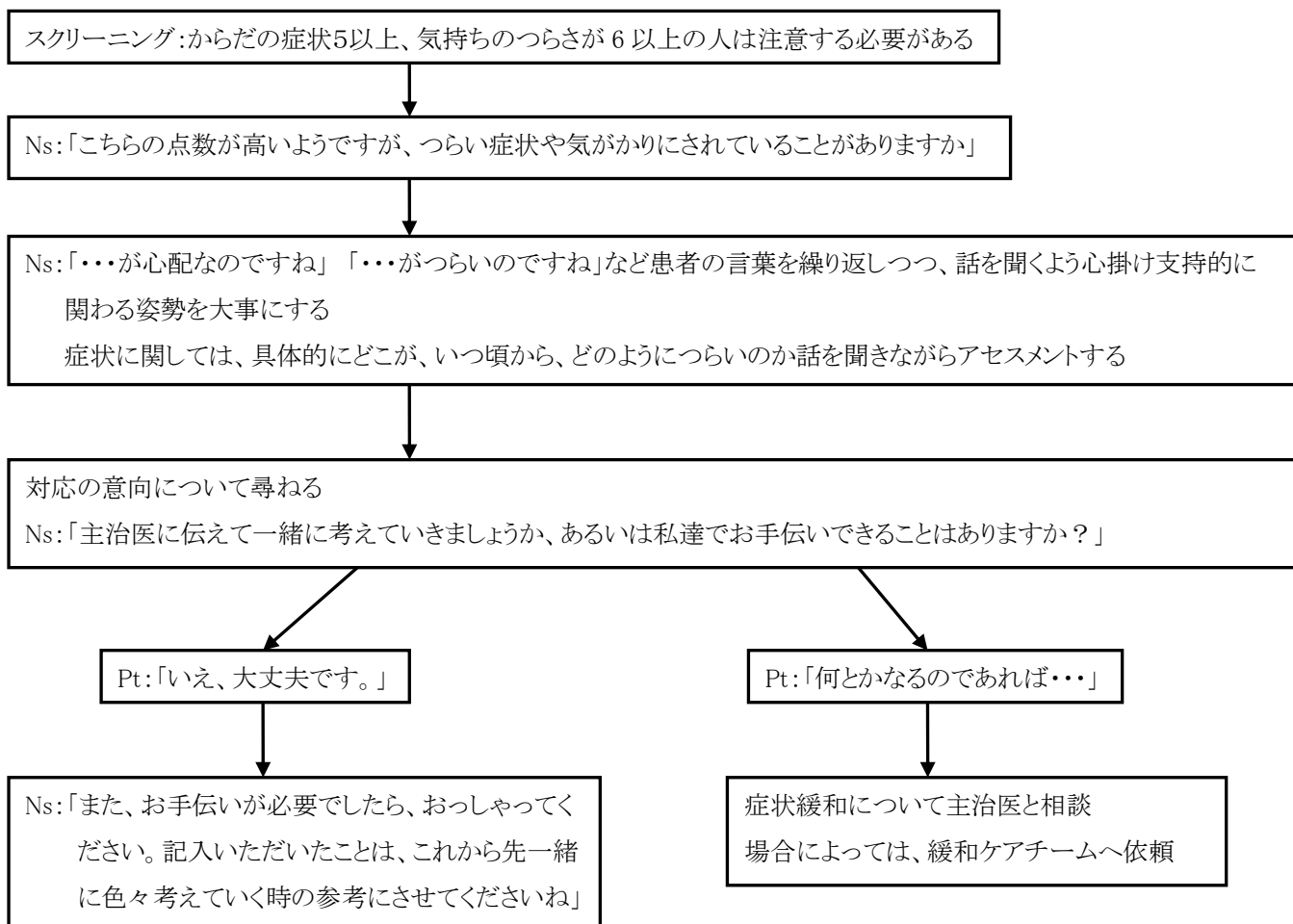
株式会社 南江堂(2023. 2)

資料① 「あなたの気持ちの確認用紙」 意思決定に関する質問票(コミュニケーションマニュアル)

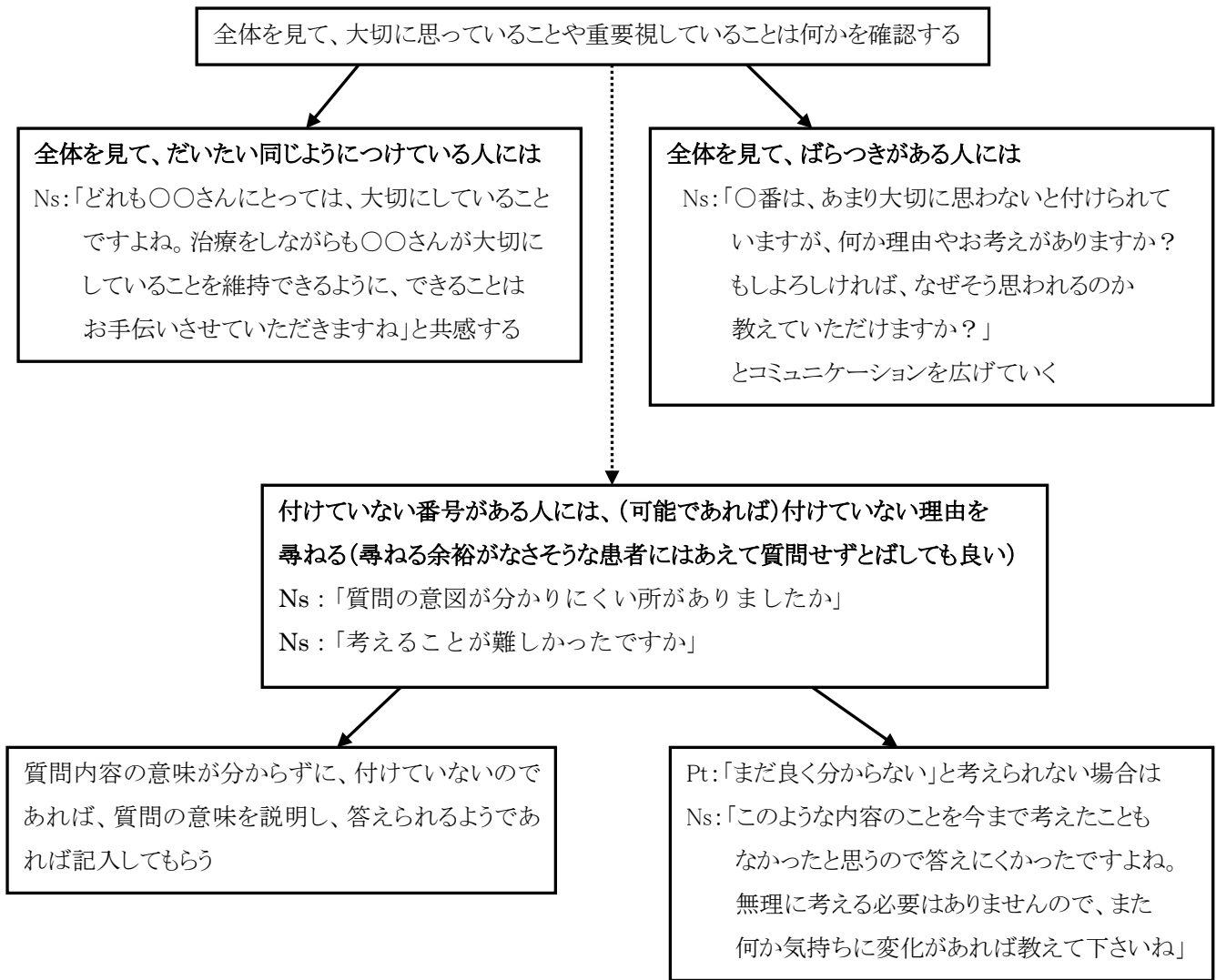
*1-1) 2)では、患者が現在抱えている気がかりや心配事について尋ね、現在どのような問題を抱えているのかを把握する。



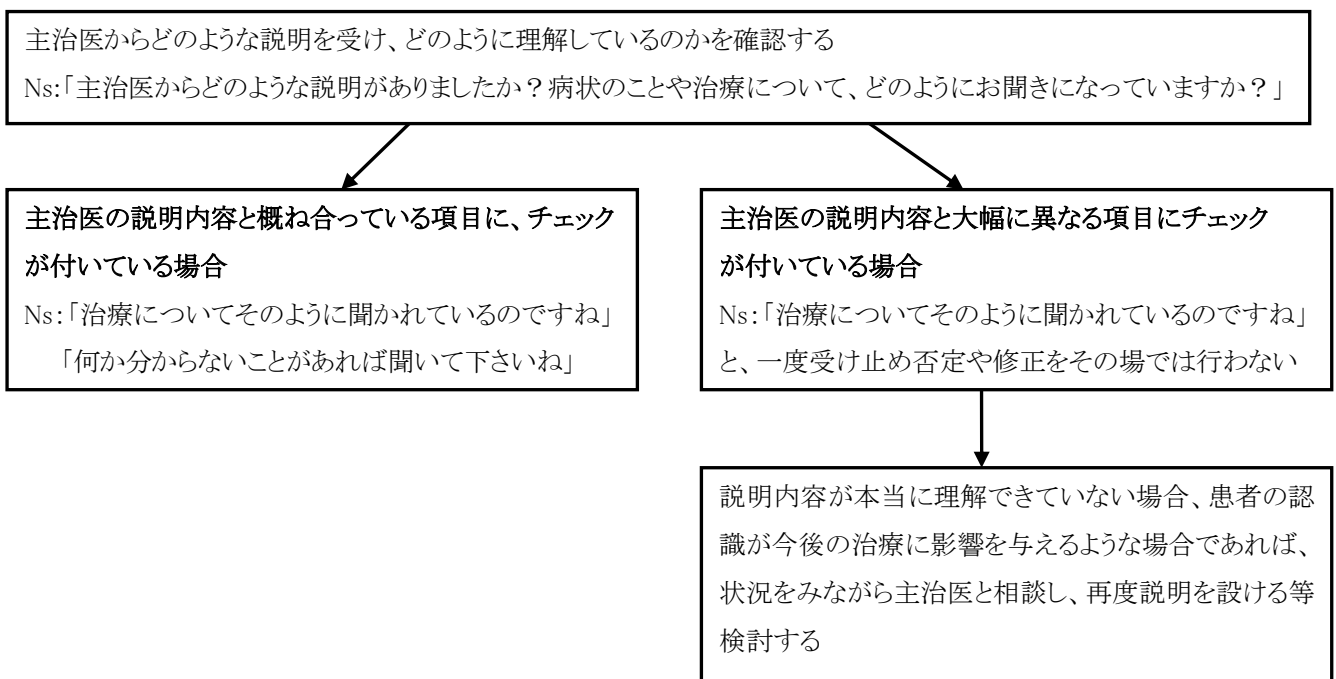
*2-1) 2)では、現在患者が抱える身体面と精神面のつらさについて把握する



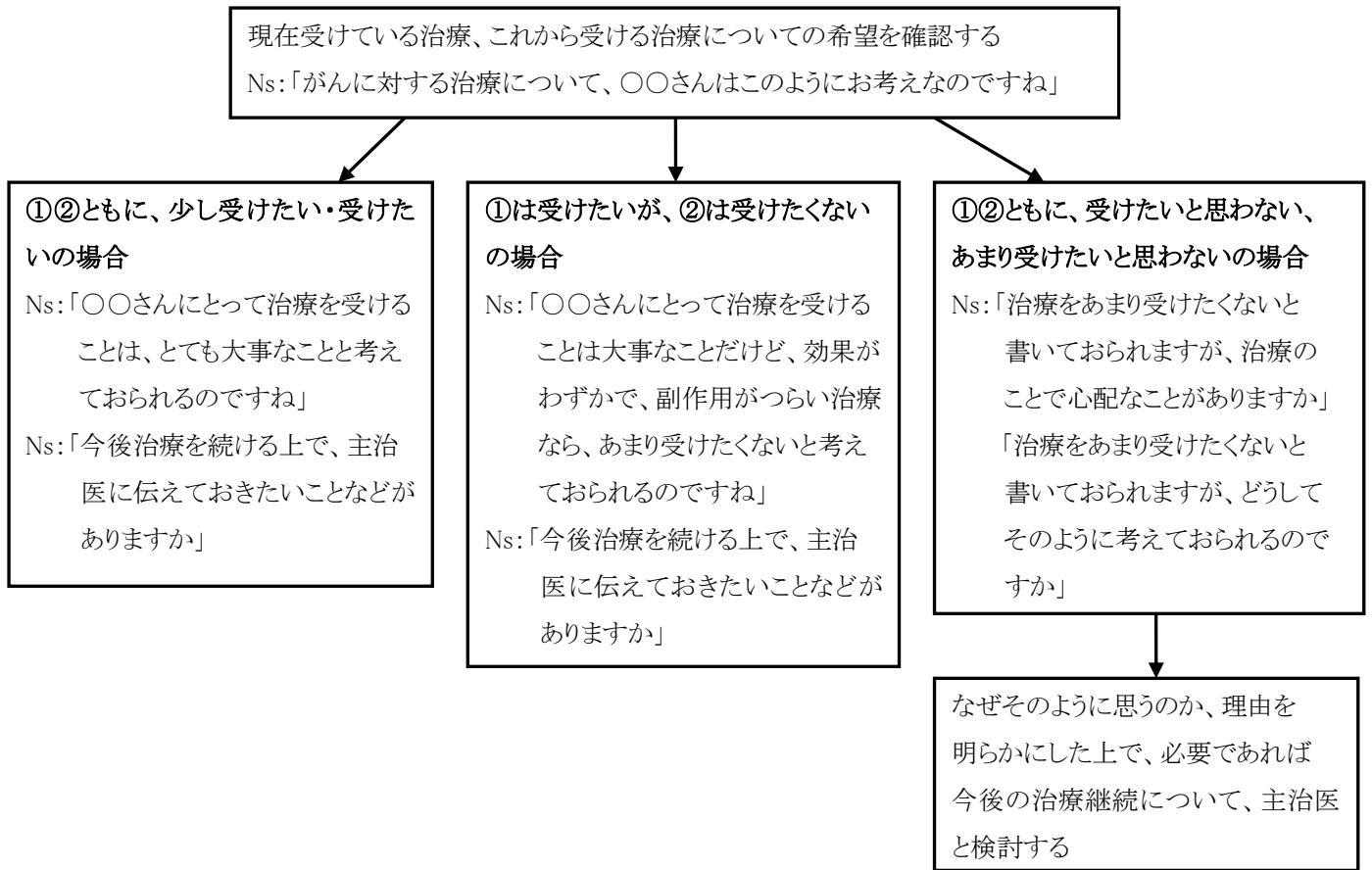
***3. では、患者が現時点で大切にしていること、価値観を把握する**



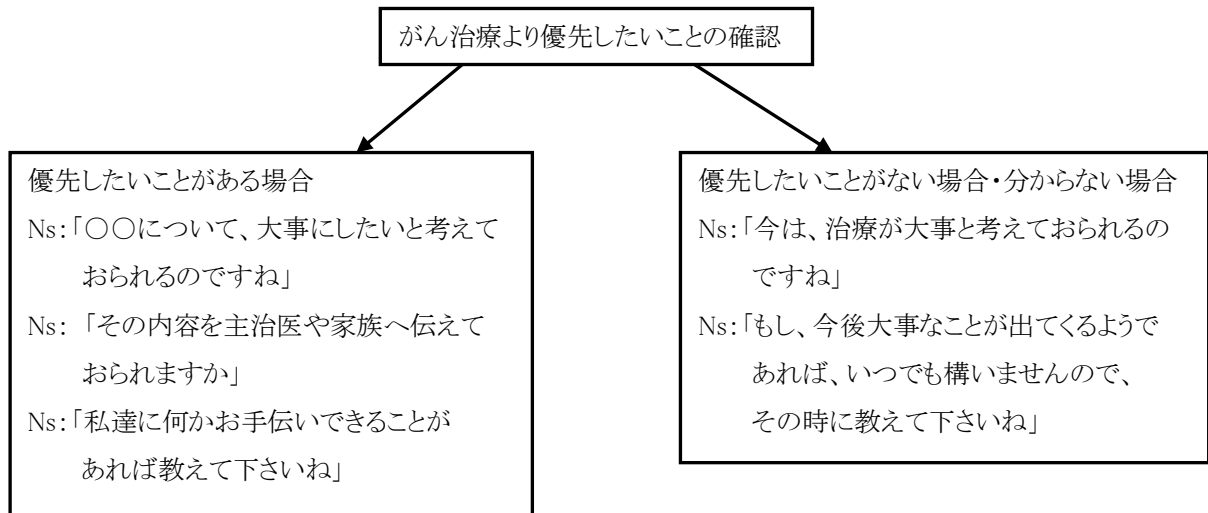
***4-1) では、主治医からの説明に対する理解度や認識を確認し把握する**



*4-2)では、治療に対する希望を確認し把握する

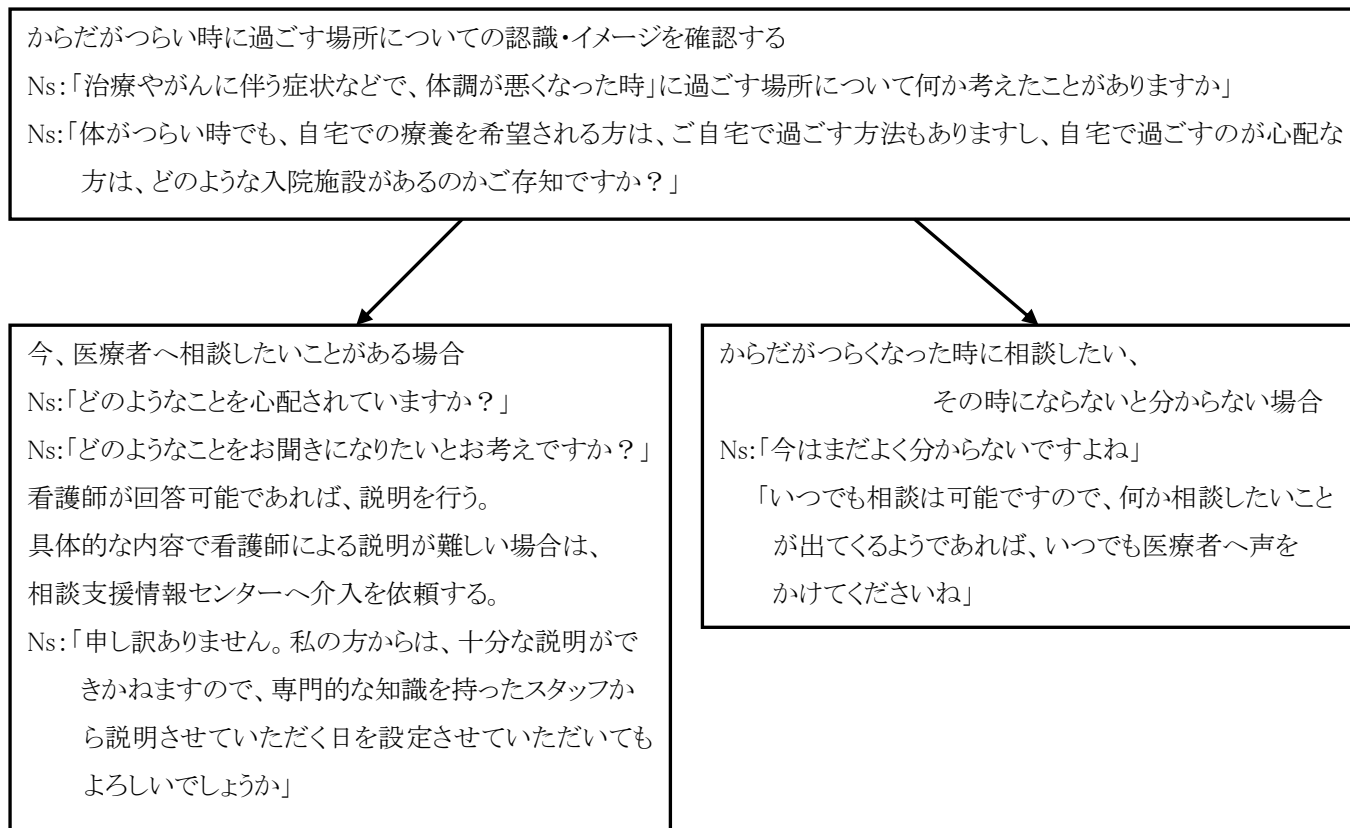


*5. では、患者が最も大切にしていること、生活の中で優先順位が高いものについて把握する

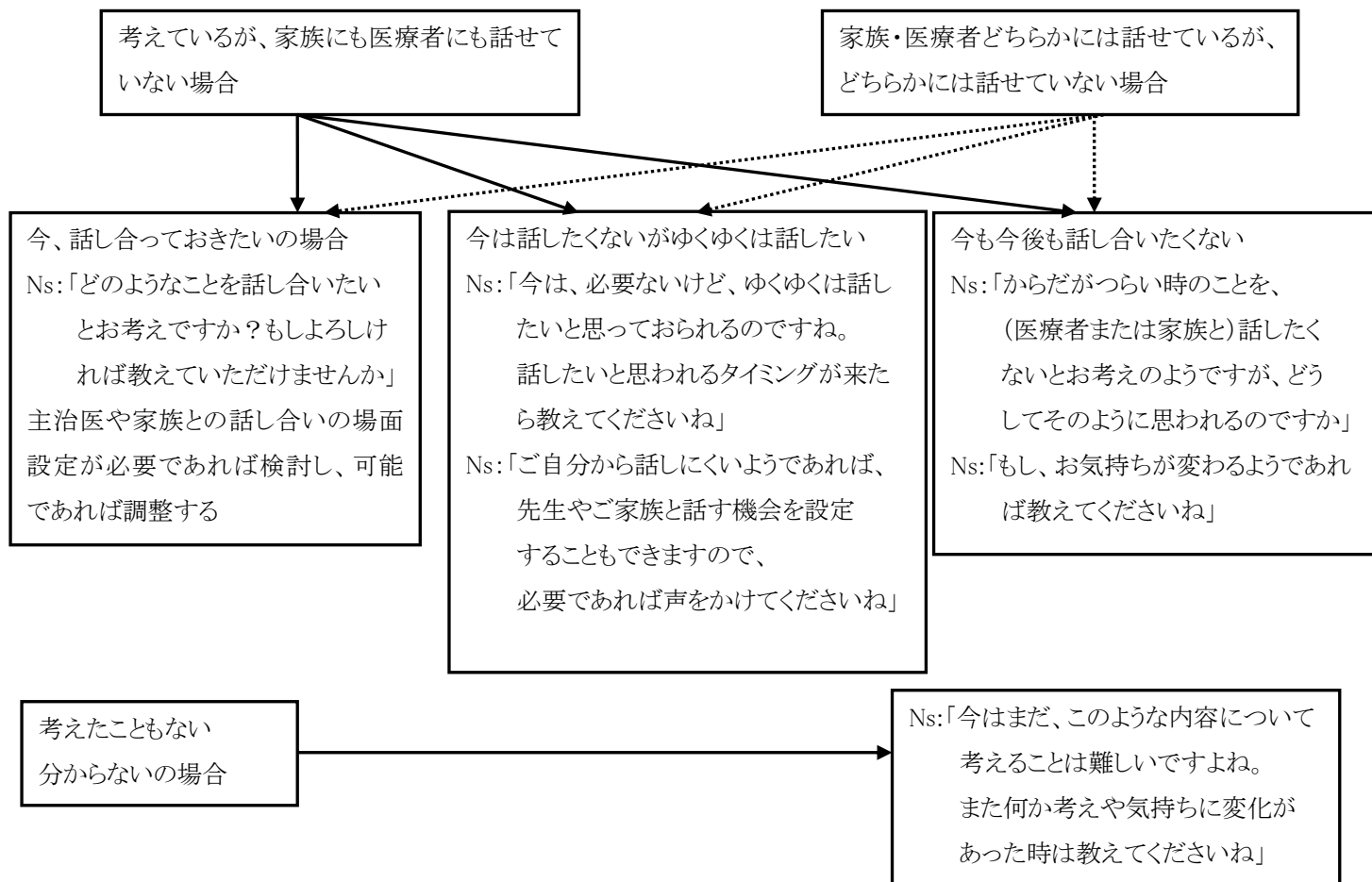


*以下の内容は、記入している患者とのみコミュニケーションを図っていく

*6-1)では、からだがつらい時に過ごす場所の認識、相談したいことについて把握する



*6-2)3)では、からだがつらい時の治療や医療に関する希望や、医療者と話し合いたいかの希望を把握する



ACP：患者・家族の意思決定支援 ～治療とともに大切にしたいことはなんだろう～ 患者さん・家族・医療者間で認識の統一を目指しましょう

患者ID: _____ 生年月日: _____ 年齢: _____
 カナ: _____
 氏名: _____ 性別: _____ 診療科: _____

あなたの気持ちの確認用紙 ～自分らしい生活を送るために～

記載後、看護師にお渡しください

* この用紙は治療の同意書ではありません。
治療やケア・生活のことで気持ちに変化があれば、その都度医療者へお伝えください。

記載日 西暦 年 月 日 記載者氏名 (続柄:)

病気になると、治療や生活などについて不安になることがあると思います。
この確認用紙を用いて、今後の治療のことや大切なことを考えてみましょう。そして治療のことだけでなく、生活の中で大切にしたいことを私たち医療者にも伝えてください。私たちは、患者の意思を尊重し、自分らしく過ごすためのお手伝いをしたいと思っています。患者さん・家族と一緒に考えるプロセスを大切にしてください。

現在のあなたのことについて教えてください

1. 今後の病気や生活について、気になる事がありますか。当てはまる口に✓をしてください
 気になる事はない あまり気にならない 少し気になる 気になる とても気になる

病気・治療・生活のこと何でもOK！
何が、どのように気がかりか聞いてみましょう

3. からだの症状(痛みや吐き気など)についてお尋ねします

① 現在からだの症状はありますか？
あてはまる症状に○をして下さい。

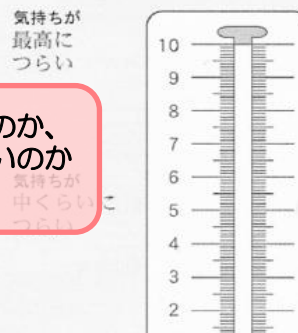
痛み しびれ はきけ 食欲の低下 眠気
からだのだるさ 息苦しい
その他()

具体的にどのような状況ですか

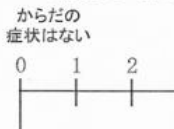
どんな風につらいのか、
どんなことがつらいのか
聞いてみましょう

4. 気持ちのつらさについてお尋ねします

この1週間の気持ちのつらさを平均して、最もあてはまる数字に○をつけて下さい。



② 現在のからだの症状はどの程度でしょうか？
最もあてはまる数字に○をつけて下さい。



患者さん・家族に思いを聞いたあとは、十分なフォローを！
聞きっぱなしではなく、継続看護に繋げてください！！

5. 当院には身体の苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげるための専門の医療者がいます。

患者さん・家族の状況に合わせて記載してもらったり、お話を聞いてください
IC前後などの機会を利用したり、後日でもかまいません

6. あなたにとって、自分らしく過ごすために、以下の項目がどのくらい大切とお考えですか？
当てはまる口に✓をしてください。答えづらい質問は空欄で構いません。

1) 医師と話し合って治療を決めること

- 大切に思わない
- あまり大切に思わない
- 大切に思う
- とても大切に思う

患者さんにとって「自分らしく過ごす」ための希望ってなんだろうか？
それぞれ価値観が違うので聞いてみましょう

2) からだに苦痛を感じないこと

- 大切に思わない
- あまり大切に思わない
- 少し大切に思う
- 大切に思う
- とても大切に思う

3) 自宅や病院など、自分が望む場所で過ごすこと

- 大切に思わない
- あまり大切に思わない
- 少し大切に思う
- 大切に思う
- とても大切に思う

4) 希望をもって過ごすこと

- 大切に思わない
- あまり大切に思わない
- 少し大切に思う
- 大切に思う
- とても大切に思う

例えば、どんなことが迷惑と思うのか聞いてみましょう

5) 人に迷惑をかけないこと

- 大切に思わない
- あまり大切に思わない
- 少し大切に思う
- 大切に思う
- とても大切に思う

その他、上記以外で、自分らしく過ごすために、大切なことがあれば、自由にご記入ください

7. 医師から治療の目標について、どのような説明を受けましたか？
当てはまる口に✓をしてください

- ①まだ治療についての説明を受けていない
- ②がんを完全に切除すること（がんが完治すること）が目標
- ③がんを完全には切除できないが、がんをできるだけ小さくすることが目標
- ④がんを完全には切除できないが、がんによる症状を和らげることが目標
- ⑤よく分からない

8. あなたはどのような治療を希望されますか？当てはまる口に✓をしてください

①抗がん治療や手術を

- 受けたいと思わない
- あまり受けたいと思わない
- 受けたいと思う
- 分からない

治療に対する思いや意気込みを聞いてみましょう
その背景にある思いは何か考えてみましょう

②標準的ながん治療の継続が難しくなった場合でも、わずかでも効果が期待できる可能性があるなら、つらい副作用があっても、がん治療を

- 継続したいと思わない
- あまり継続したいと思わない
- 少し継続したいと思う
- 継続したいと思う
- 分からない

9. 今までの生活を維持するために、がん治療と共に、あるいはがん治療よりも優先したいことがある場合は、当てはまる口に✓をしてください

- 全てを詳細に記入する必要はありません。
患者さんにとって重要な部分だけでもかまいません。

先々の話しなので、十分に配慮して
「差し支えなければお聞かせください」
と説明しながら、話を進めていきましょう

- ***** 以下、あなたに当てはまらない質問や答えづらい質問は、空欄で構いません *****
- * 10. からだがつらい時の医療に関する希望(してほしくない事など)について、あなた自身で考
* たり、家族(大切な人)や医療者に伝えたことがありますか？
- * 家族にも、医療者にもだいたい伝えている 家族には伝えているが医療者には伝えていない
- * 医療者には伝えているが家族には伝えていない 考えているが家族にも医療者にも伝えていない
- * 考えたことがない 分からない
- * 11. からだがつらい時の医療に関する希望(してほしくない事など)について医療者と話し合
* いたいですか？
- * 今、話し合っておきたい 今は話し合いたくない ゆっくりは話したい
- * 今も今後も話し合いたくない 説明を受けて
- * 12. からだがつらいなどの理由で自分の意思表示が難
* 任せたいですか？
- * (意思決定を任せたい人のお名前：
* 続柄：)
- * 13. からだがつらい時に過ごす場所として、「どのような場所で過ごしたいか」また、その療養
* 場所で「どのようなケアが受けられるのか」などを医療者へ相談したいですか？
- * 例) 自宅で過ごす時の訪問診療について、緩和ケア施設について、がんセンター以外の病院について
- * 今、医療者へ相談したいことがある (相談
* したい内容：)
- * からだがつらくなった時に相談したい
- * その時にならないと分からない
- *****

各ステージで捉え方は違います
「どのようなイメージ」を持たれているか
それはどうしてか聞いてみましょう

本人が療養の場としてどこを望んでいるのか？
それはなぜだろうか？聞いてみましょう

<医療者記入欄>

Blank box for medical staff input.

ACP用紙は、未回答・白紙でも構いません。
その理由はなぜだろうか？と考えてみましょう。
最後は「聞かせてもらったことへの感謝の気持ち」と
「いつでもお聞かせください」と伝えましょう！！
「コミュニケーションマニュアル」も活用してください

ACP

Advance
Care
Planning

アドバンス・ケア・プランニング

伝えてありますか？

自分らしい生活を送るため
あなたの気持ち・・・



治療とともに
大切にしていることは
何ですか？



体がつらい時に
過ごしたい場所は
どこですか？



あなたの意思を
理解している人は
誰ですか？

調子が良い時に、前もって考え、大切な人に伝えておきましょう。

九州がんセンターでは、アドバンス・ケア・プランニングを通してがん患者さん・家族を支えます。

アドバンス・ケア・プランニング
(ACP)とは？

皆さまの価値観をもとに、今までのことを振り返りつつ、体がつらく、自分で意思表示ができない時に備え、前もってこれからの治療・生活を医療者と共に考えていくことです。

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に関する Q&A

Q1：ACP って何ですか？

アドバンス・ケア・プランニングの略語です。
アドバンス・ケア・プランニングとは、皆さまの意向に添ったケアを実現するために、あらかじめこれからの治療や生活について、医療者と共に考えていくことです。

Q2：なぜ、この用紙を書かないといけないのですか？

私たち医療者は、皆さまの「気持ち」や「大切にしていること」をできるだけ理解した上で、それぞれに合うケアを提供したいと思っています。
そのために、この用紙を利用して、あなたの価値観や、今の気持ちを教えてください。
書けない部分は空白にしておいてください。後ほど看護師が受け取りに来ますので、不明な点をご質問ください。

Q3：この用紙を書いたら何に役立つのですか？

この用紙を記入していくことで、自分の気持ちや考えを整理する機会になります。また「自分が大切にしていること」や、「治療に対する考え」を、医療者やご家族に伝えていただくことで、自分らしい生活を送る手助けになると考えています。
私たち医療者は、この用紙をもとに皆さまと話し合いながら、より良いサポートを提供していきたいと思っています。

Q4：みんな書いているのですか？私だけ書いているのですか？

「あなたの気持ちの確認用紙」は、入院患者全員に配布し、記入していただいています。気持ちや価値観は、その時々で変化しますので、入院する度に繰り返しお渡ししますが、変化のない時は、1枚目のみ記入し、それ以降は空白で構いません。

ご協力ありがとうございます。

Advance Care Planning (ACP)

アドバンス・ケア・プランニングとは

皆さまの価値観をもとに、今までのことを振り返りつつ、体がつらく、自分で意思表示ができない時に備え、前もってこれからの治療・生活を医療者と共に考えていくことです。

九州がんセンターが アドバンス・ケア・プランニングを 推奨している理由

がんと診断されると、治療のこと、生活のことなどについて不安になることがあると思います。患者さんは、よりよい医療を受けたいと考えるでしょう。そして医療者もよりよい医療を提供したいと考えています。しかし、両者の大切にしたいことが一致しないこともあります。

医療は不確実な面があり、先が見えにくい場合があります。あなたの思いが尊重され、自分らしく過ごせるような治療、生活を続けるためには医療者と話し合っておくことが大切です。

当センターでは、その実践のためにアドバンス・ケア・プランニングということを取り入れました。

「繰り返し話し合う」のは・・・

九州がんセンターでは、皆さまの価値観やこれからの希望を尊重いたしますのでお気持ちや考えを医療者へお知らせください。気持ちや考えは、その時々で変化します。繰り返し話し合いましょう。

患者さんからの声

話し合いの大切さ

(40代 女性)



病気が分かった時は、これからどんな治療をしたいのか、どんな風に生活していきたいのか、いろいろなことがなかなか決め切れない状況でした。病気としっかり向き合う為にも医療者や自分を支えてくれる人と話し、意思の疎通を図ることはとても大切なことだと思います。

見通しを知ることの大切さ

(40代 男性)



がんと告知されたとき、頭が真っ白になりました。そして治療のことだけでなく、自分の体や心に起こること、生活や家族、会社や社会との関わりの変化について、見通しが知りたいと思いました。あらかじめ知り、周りに伝えておけば回避できた痛みや悩みも、多くあったと思います。

分からないことの連続でした

(50代 女性)



がんになって分からないことの連続でした。新聞やホームページなどで、自宅でも点滴ができることや、緩和ケア病棟で痛みをとって退院したという体験談が書いてあり、びっくりしました。自分のことなので、日頃から分からないことは尋ね、知っておくことが大切だなと思いました。

独立行政法人国立病院機構

National Hospital Organization Kyushu Cancer Center



九州がんセンター

〒811-1395 福岡県福岡市南区野多目3丁目1番1号
お問い合わせ先：相談支援・情報センター（1階）
電話：092-541-8100(10:00~16:00)

伝えてありますか？

自分らしい生活を送るため
あなたの気持ち・・・

ACP

Advance
Care
Planning

アドバンス・ケア・プランニング



体がつらい時に
過ごしたい場所は
どこですか？

治療とともに
大切にしていることは
何ですか？

あなたの意思を
理解している人は
誰ですか？



National Hospital Organization Kyushu Cancer Center

九州がんセンター

どのような内容を伝えておくといいか？

なぜ、がん治療と共に考える必要があるのでしょうか？

人はさまざまな環境や、生活を通して「大切にしていること」「してほしくないこと」など一人ひとりの価値観があります。

それは本人にしか分からないことです。

がん治療をする中で、体がつらく、自分の考えや思いを上手く医療者に伝えられないこともあります。

そのため、今、この機会に、

自分が「大切にしてきたこと」

「してほしくないこと」など、

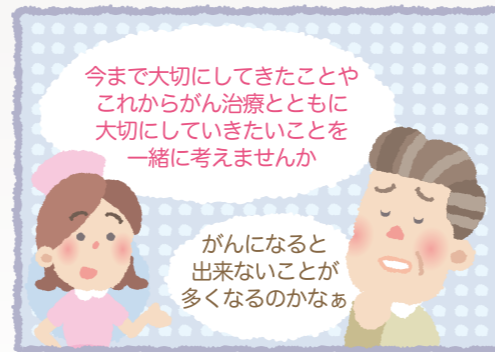
自分の考えをまとめておきましょう。

そして、医療者や自分を支えてくれる人に

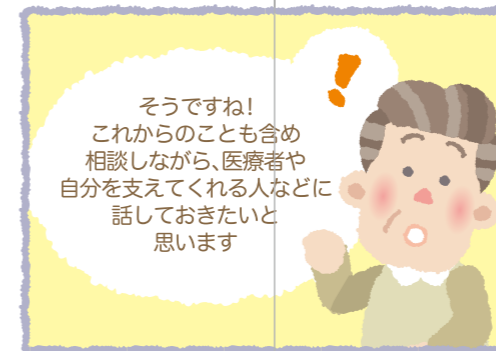
そのことを伝えておくことが、

がん治療を継続していく上でとても大切になります。

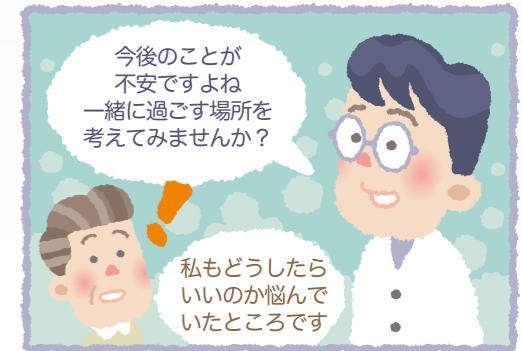
●これから大切にしたいこと●



●これからの治療・生活●



●これから過ごす場所●



気持ちが落ちついてから考えることが大切です。

そして体調によって気持ちや考えが変化します。一緒に考えていきましょう。